

平成24年度 第1回広島県道路交通渋滞対策部会

議事概要

1. 日 時 平成24年7月25日(水) 15:00～

2. 場 所 中国地方整備局 広島国道事務所 5階会議室

3. 出席者

[委員]

北澗 弘康	国土交通省中国地方整備局道路部	道路計画課長
三橋 勝彦	国土交通省中国地方整備局広島国道事務所	事務所長
藤田 修	国土交通省中国地方整備局広島国道事務所	計画課長
藤原 武夫	国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所	事務所長
平西 邦裕	国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所	調査設計第二課長
景山 浩孝	国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所	調査設計課長
福島 弘	国土交通省中国運輸局交通環境部	環境課長
中村 滝登	国土交通省中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官 総務企画担当【代理出席】
泉谷 伸生	広島県土木局	道路企画課長
平木 茂	広島県土木局	道路整備課参事【代理出席】
吉田 晋司	広島県土木局	都市計画課都市整備担当監 【代理出席】
中原 司	広島県警察本部	交通規制課長補佐【代理出席】
藤田 昭彦	広島市都市整備局	都市計画課 課長補佐【代理出席】
山田 秀樹	広島市道路交通局道路部	道路計画課 課長補佐【代理出席】
工藤 昭利	広島市道路交通局道路部	道路課長
永川 広雅	広島市道路交通局道路部	街路課長
谷脇 秀視	広島市道路交通局都市交通部	交通対策担当課長
宗方 鉄生	西日本高速道路株式会社	中国支社企画調整課長
金保 勉	本州四国連絡高速道路株式会社	しまなみ尾道管理センター 計画課長
油野 裕和	広島高速道路公社	企画調査課長

※敬称略

4. 議事

- (1) 規約の改正について
- (2) 開催主旨と広島県主要渋滞箇所（仮称）案の抽出について
- (3) その他

5. 議事概要

<委員からの主な意見>

- ・（委員）平成17年の見直しと今回の抽出に用いたデータ及び指標が異なるが、これらの整理はどのように行うのか。
- ・（事務局）従来の58箇所のうち、今回の指標において特定されたものが31箇所ある。また、残りのうち12箇所においては、当時と比較して道路整備や周辺状況の変化によって改善されたものと思われる。15箇所については、一定期間の渋滞の程度が、他の区間と比較したときに小さかったため特定されなかったのではないかと考えている。しかしながら、特定されなかった箇所についても民間プローブデータにより、引き続きモニタリングをしていきたいと考えている。
- ・（委員）改善されたと言われた箇所の要因となっている道路整備について、どのようなものがあるのか。
- ・（事務局）例を挙げると、平成24年3月三原バイパス供用により「城町南交差点」、廿日市高架橋の供用により「速谷交差点」及び「宮内交差点」、平成24年4月東広島・呉道路の阿賀IC－黒瀬ICの供用により「郷原大橋東詰交差点」等の交差点の渋滞が解消されたことを確認している。
- ・（委員）パブリックコメント実施に当たって、従来の考え方は渋滞長1000m以上など比較的わかりやすいものであったが、今回の指標は損失時間80万人・時間／年等、一般の方に分かりにくいものと思うが、もう少し分かりやすい説明が必要なのではないか。
- ・（事務局）一般の方からすれば、渋滞長や速度の考え方の方がわかりやすいと思われる。前回（H17）と比べると、速度20km/h以下という数値は共通しているが、損失時間についてはもう少し分かりやすい説明となるよう考えていくこととしている。